

提出 順番	No. 5	令和 8 年 8 月 24 日 (午前)・午後 9 時 20 分受領
----------	----------	---------------------------------------

令和 8 年 8 月 24 日

幕別町議会議員 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
子宮頸がん予防対策の強化について	子宮頸がんは、その多くがHPV（ヒトパピローマウイルス）の持続感染を原因として発症することが明らかになっています。HPVワクチンを接種することで感染を予防する「一次予防」と、子宮頸がん検診によってがんや前がん病変を発見し、がんになる前に治療する「二次予防」の双方が確立していることから子宮頸がんは数少ない「予防できるがん」とされています。 また、平成18年6月にがん対策基本法が制定されてから約20年余りが経過し、この間、多くのガンの診断技術や治療法が進歩してきたことによって、治療成績の向上や死亡率の低下など、一定の成果を上げてきたものと認識しているところであります。 しかしながら、北海道ではHPVワクチンの接種率が全国的に低い水準にあり、子宮頸がん検診の受診率についても、目標とする水準には達していないのが現状で、予防手段があるにもかかわらず、若い世代を含む女性の罹患や死亡リスクを十分に抑制することはできていません。 子宮頸がんは、生命を脅かすだけでなく、若い女性が子宮を失い、将来、妊娠や出産をする可能性を失うこともあり、仕事や子育て、家族の生活にも大きな影響を及ぼすことから、以下の点について伺います。 - 直近3年間で本町におけるHPVワクチンの接種率と子宮頸がん検診の受診率は。 - HPVワクチン接種、子宮頸がん検診受診の向上対策は。

	3 キャッチアップ接種（HPVワクチンの接種を逃した方のための接種）の実施における対象者数と接種率は。 4 HPVワクチン定期接種の機会を逃さないため、庁内における連携体制は。 5 男性のHPVワクチン接種の周知啓発する考えは。 6 世界保健機関（WHO）は子宮頸がん排除に向けた2030年目標を掲げていますが、町の認識と目標は。
--	---

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。